

平成19年度からの繰越にかかる決算報告書

1 電子調達（物品等）事業システム開発費について予算を平成20年度に繰り越して執行した理由

本業務にかかる平成19年度事業費については、本システムの開発業者である日本電気株式会社中部支社の企画提案書に示された将来経費に基づいて必要金額を予算計上しており、電子入札システム、入札情報サービスシステム及び事務支援ツール（電子入札に関わる部分）の実証実験にかかる経費についても提案書に基づき計上したところであるが、実証実験の実施時期等詳細については予算計上時には未確定であった。そのため、平成20年8月の電子入札システム運用開始の時期にあわせて、実証実験も平成20年度に行うこととしたことにより、この分にかかる予算を平成20年度に繰り越し、執行したものである。

2 電子調達（物品等）事業システム開発費繰越計算書（平成19年度作成）

科 目	予算額	補正額	予算現額	支出負担行為済額	支出済み額	繰越額	不用額
	A	B	C = A + B	D	E	F	C-E-F
電子調達(物品等)事業	38,850,000	6,500,000	45,350,000	45,349,500	44,299,500	1,050,000	500
システム開発費	38,850,000	6,500,000	45,350,000	45,349,500	44,299,500	1,050,000	500
合計	38,850,000	6,500,000	45,350,000	45,349,500	44,299,500	1,050,000	500

3 平成20年度 電子調達（物品等）事業システム開発費決算書（繰越事業分）

科 目	予算額	補正額	予算現額	支出負担行為済額	支出済み額	繰越額	不用額
	A	B	C = A + B	D	E	F	C-E-F
電子調達(物品等)事業	1,050,000	0	1,050,000	1,050,000	1,050,000	0	0
システム開発費	1,050,000	0	1,050,000	1,050,000	1,050,000	0	0
合計	1,050,000	0	1,050,000	1,050,000	1,050,000	0	0

4 執行の内容

- 1 業務名 「あいち電子調達共同システム（物品等）」設計・開発業務
- 2 期 間 平成20年4月1日から平成20年7月31日まで
- 3 目 的 入札参加資格者登録から、発注見通しの公表、指名通知、入札・開札、結果の公表までの一連の調達プロセスをインターネットなどの情報通信技術を利用して行うことにより、競争性の確保及び受注機会の拡大、調達コストの縮減、事務の効率化を図る。
- 4 業務内容 電子調達システム（平成20年度稼動する電子入札サブシステム及び入札情報サービスシステム）に関する一般職員（発注者）並びに一般利用者（受注者）が参加する実証事件を行った。